

被害状況とその対応



↑ 県副知事（中央）が現地を視察し漁業者と面談



↑ すべての生簀に浮いてしまっている死魚



← 生簀一面に浮いた死魚をすくい上げる漁業者たち

赤潮拡大の抑制に効果があるとされる粘土や塩を溶かし、散布する漁業者ら

7月28日に八代海赤潮警報が発令され、漁業者たちは早期から餌止めや粘土、塩などをまくなど最大限の対策を講じてきました。しかし、赤潮の拡大は止まらず、たくさん養殖ブリがへい死しました。この死魚を処分するため、漁業者は早朝から夜遅くまで作業に追われました。

死魚の陸揚げや埋設作業には、地域住民や土建業者らも協力。町民一丸となって対応していました。